

学校便り 12月号

令和6年11月29日発行

令和7年3月5日改訂

和歌山市立岡崎小学校

学 校 長

早いものでもう今年も1ヶ月となりました。子どもたちは、1年のまとめをするべく頑張っています。

10月11日には体調を崩し、長い間お休みをいただき申し訳ありませんでした。復帰した私に、朝のおはようございますの挨拶と共に、「大丈夫?」「おかえりなさい。」「かぜやったん?」「元気でよかった。」「お母さん、復帰の手紙見て、喜んでたで。」等、優しい言葉をかけてくれました。申し訳ないという気持ちに温かいものが通い、言葉というものはこんなにも力をもっていたのかと、身をもって感じました。

また、運動会の話をしてくれる子どももありました。「先生、雨でも頑張ったよ。」「見てほしかったな。」そう話す子どもの顔は満足げで、運動会での成長が感じられました。体験学習は子どもの成長には欠かせないものだと思いますが、改めてその重要性を感じさせられました。

11月にも、多くの体験学習がありました。交通安全教室(1・3年)や、遠足(1~4年生)、社会見学(紀伊風土記の丘 6年生)、町探検(2年生)。地域の方や専門の方による出前授業も行われました。認知症キッズサポート(6年生)体操教室(なかよし学級)喫煙防止教室(4・6年生)人権教室(4年生)東高校との体育交流(3年生)。その中から、見守り隊の方による出前授業の内容を紹介します。45分という短い時間でしたが、岡崎地区についてのお話だけでなく、6年生へ想いとエールが感じられる授業でした。

見守り隊の方による、岡崎の歴史についての出前授業(6年生)

道徳の学習について



笛の名人 あらすじ 【学校図書「明るい生活」】

主人公が旅をしている船に、ある日盗賊がのりこんできた。死を覚悟した主人公は笛の名手で、死ぬ前に一曲吹かせてくださいと願う。主人公はただ一心に笛を吹いた。その笛の音に感動した盗賊は「だめだ。あの笛を聞いたら、わるいことなんか、できなくなった。」と何も取らずかえっていった。

笛の名人のプリントを読む様子 <<子どもたちの感想>>・死を覚悟するなんて、すごい。

・笛の音が人の心を動かせるなんてすごい。

地域の様子と歴史について【岡崎郷土史参照(平成15年3月発行)】

- ・便利な施設(駅・コンビニ・スーパー・病院等) ・道路や宅地の開発 ・高速道路へのアクセス
- ・岡崎地区の独自のもの(免許証センター・交通公園・貴志川線のたま電車等)
- ・伝統ある建造物(満願寺) ・残っている豊かな自然(どんやまの正式名称は福飯ヶ峯^{ふくいがみね})

地域の方の想いについて

- ・笛の名人の主人公のように、運動会等、みんなの行動が見ている人の心を動かしている。
- ・子どもは地域の宝である。岡崎小学校を巣立っていても、岡崎小学校が心のふるさとだということを忘れないでほしい。

12月にも、社会見学(稲村の火の館等 4年生)緑育(5年生)の体験学習に行く予定になっています。様々な体験学習を通して、子どもの成長する姿を見ることができるのが楽しみです。